

令和4年

第5回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和4年第5回仙北市議会臨時会 市政報告

令和4年第5回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、安倍晋三元総理大臣のご逝去についてです。

7月8日、ご逝去の報に接し、あまりにも大きな衝撃を受け、憤りを禁じ得ません。暴力行為は決して許されるものではありません。

仙北市は、国家戦略特区やSDGs未来都市認定等でご指導いただき、大変お世話になりました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

次に、8月3日からの豪雨災害についてです。本県を含む東北地方、北陸地方が記録的な豪雨に見舞われました。被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の早期復旧、日常生活への回復を心からご祈念申し上げます。

次に、新型コロナウイルス感染状況についてご報告します。7月中旬以降、全国的に変異株「BA.5」と見られる感染が急速に進み、市内の一日の感染者が50人に迫る日もあり、7月11日から23日までの平均23.0人と感染が拡大しています。秋田県は警戒レベルを「レベル2(警戒強化)」に引き上げています。行動制限はかけられていませんが、市民の皆様には、これまで以上に警戒感を強め、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

このような状況下で、7月23日、私が新型コロナウイルスに感染していることが検査の結果、判明しました。皆様には、ご心配とご迷惑をおかけすることになりました。改めてお詫び申し上げます。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

3回目のワクチン接種について、8月7日現在の進捗状況は、5歳以

上の2回目の接種を終えた方が2万2千557人に対し、1万9千109人の方が3回目の接種を終えています。接種率は 84.7%になっています。

4回目の接種については、8月7日現在で485人の方が接種を終えています。7月22日に3回目接種の完了から5か月以上が経過した18歳以上60歳未満の医療従事者、高齢者施設等の従事者が追加で対象となっています。

本日、4回目接種追加の所要の予算を提案しています。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

次に、一般会計補正予算(第5号)についてです。

第5号の補正額は 3,413 万 1 千円の追加で、補正後の額は 208 億 9,078 万 4 千円です。補正事業は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費、道路維持補修費、防災行政無線維持管理費です。

次に、仙北市の行財政改革の進捗についてご報告します。107の事務事業について、7月13日に部長等会議構成員による一次評価会、27日には仙北市総合政策審議会委員による外部評価会を実施しました。特に外部評価会では各委員から、活発かつ忌憚のないご意見をいただきました。事務事業評価は、事業の効果、目的を明確にし、必要性、手法の妥当性などを分析評価するもので、いただいたご意見を業務改善や予算編成に確実に反映させていきます。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇第三セクター4社の新設合併について

株式会社花葉館、株式会社西木村総合公社、株式会社西宮家、株式会社アロマ田沢湖の経営悪化に伴う4社の新設合併について、7月

14日、4社間による新設合併契約を締結し、9月1日に「株式会社おもてなしせんぼく」を設立することとなりました。

新会社においても、これまで各社が事業目的としていた市民への福祉サービスと観光振興については引き続き継続し、地域に愛される施設となるよう努力してまいります。

◇大仙仙北美郷支部消防訓練大会について

7月16日、大仙市雄物川河川敷を会場に秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会が3年ぶりに開催されました。仙北市からは市の大会で上位3位まで入賞した第4分団1班、2班、3班が出場し、第4分団1班が3位、2班が4位、3班が5位と出場3隊すべてが入賞する好成績を収めています。

【市民福祉部】

◇車検切れ公用車の公務使用について

7月12日、市民生活課職員が6月に使用した公用車について、車検期間が満了していたにもかかわらず、公務に使用した事実が判明しました。

当該車両は6月7日に車検期間満了となっていました。使用課と所管課が異なっていることから、双方の管理責任の所在が曖昧となり車検有効期日の確認を失念し、車検切れとなったものです。

市民の皆様の信頼を損ねることになりましたことについて、深く反省しお詫び申し上げます。

再発防止策として、運転報告日誌やダッシュボード等へ車検満了日を記載したシールを貼り付け、運転前に確認することとし、あわせて、全公用車の車検満了日を一元管理し、車検満了1か月前までに管理課及び所管課、使用課にて二重確認できるシステムを構築しました。

二度とこうした事態を起こさないよう、再発防止に努めます。

【観光文化スポーツ部】

◇たざわ湖・龍神まつりについて

7月30日、田沢湖畔のイベント広場を会場に第50回たざわ湖・龍神まつりが実行委員会主催で行われました。これに先立つ7月16日には、院内の辰子生誕の地で「辰子まつり」と、田沢湖畔白浜で安全祈願祭を執り行いました。

本来令和2年度に50回目を迎える予定でしたが、コロナ禍による影響で2年延期となり、今回の実施となりました。

50回記念ということで、地元産食材にこだわったBBQ、キッチンカーの出店、わらび座による辰子伝説のステージ上演、地域おこし協力隊としても活動しているDJ SHINTAROさんによるDJの披露など会場を盛り上げるイベントが開催されたほか、「たざわ湖大花火」は、同じく50周年を迎えた大曲青年会議所記念事業の水中花火「ICHI NO HANA」や、秋田県旅館組合仙北支部の「^{やど}宿花火」と3者で連携する形で復活し、推定3千500人程の来客がありました。

また、密を避ける試みとして、1日限りのイベントだけでなく、龍神SUMMERとしてフォトコンテスト、スタンプラリーなども8月31日まで継続中です。皆様のご参加もよろしくお願いいたします。

◇角館町割 400 年記念シンポジウムについて

7月31日、角館交流センターを会場に「角館町割 400 年記念シンポジウム」を開催し、160名の来場者をお迎えしました。

シンポジウムの第1部は、民衆思想史研究所代表 ^{えいひでお}江井秀雄氏による「角館・御家断絶と再興事件」と題した記念講演、第2部は国立歴史民俗博物館准教授 ^{あまのまさし}天野真志氏を講師に迎え「秋田藩角館の変遷」と題した基調講演を行いました。

第3部は山形大学教授 ^{ながいやすお}永井康雄氏をコーディネーターに、4名の各界を代表する方々をパネリストにお迎えし、「町割 400 年、これからの100年に向かって」ーこの町並みを未来のこどもたちへーと題してパネルディスカッションを行いました。

角館小学校児童による「さくらの町の案内人」のステージ披露など、

文化財を継承するための様々な取組も紹介し、パネルディスカッションでは、「角館の町並みを未来へ遺すためには、教育や人材育成が重要である」という、新たな100年に向けての提言をいただきました。参加した角館中学校、角館高校の生徒からは、新型コロナウイルスに負けない未来に向けた力強い決意表明がなされました。

400年の節目にあたって、先人が住みながら守り継いできた角館の町並みの価値を再認識し、歴史的なまちづくりのあり方について市民の皆さんと共に考える良い機会となりました。継承されるべき、これらの文化財を次世代に繋げていきたいと思えます。

◇火除け地復元検討委員会について

火除け地(仙北市役所東勝楽丁庁舎跡地)について、火除けの復元方法及び活用について検討する場として、火除け地復元検討委員会を7月1日に設置しました。

8月1日、第1回検討委員会を開催し、委員13名に委嘱状を交付し、委員長は^{ながいやすお}永井康雄山形大学教授、副委員長は仙北市文化財保護審議会委員の^{なかたつお}中田達男さんに決まりました。

会議では令和2年度から令和3年度までの火除け地発掘調査の報告がされたほか、今後のスケジュール等について説明がされました。

今後、検討委員会にて議論いただき、火除け地復元及び活用について進めていきます。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、報告関係1件、予算関係1件、その他1件、指定管理者関係6件の計9件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。